



『郷土史料文化館』を
津奈木の情報発信源に



去る五月十三日、町民広場に「郷土史料文化館」が完成しました。まだ、水俣も芦北町も田浦町にもありません。どこも展示品を集めているが、場所がないので、欲しくてたまらない施設です。熊本県内は県立博物館を除くと六ヶ所だけ。何時の時代でも、若者にとって古めかしく不便なモノは邪魔になります。それを利用した老人にとつて、どんな愛着がこめられたモノであるか、若者は無視しがちです。それは、その時の最先端をゆく

蔵の中の民具に光を

県南では初めてです。建坪三二・五平方メートル、中に大きい二つの部屋があります。民族文化財展示室と、伝承芸能練習室の二つです。これまで、津奈木でも先輩が集めたもの、寄贈を受けた農機具などを旧保育園などに収納してきました。これでやっと陽の目を浴びることになり、先輩方の努力と、寄贈者の好意に酬いることができるようになりそうです。

何の時代でも、若者にとって古めかしく不便なモノは邪魔になります。それを利用した老人にとつて、どんな愛着がこめられたモノであるか、若者は無視しがちです。それは、その時の最先端をゆく

以前使っていた生活用具のいろいろ

さらには、郷土史料文化館の完成により、昔の身近な人々の暮らしを勉強するのに、遠くの歴史資料館へ出かける必要は、これまでにないかもしれません。

まだ足りない資料

水俣や芦北郡の子供たちに見て来てもう一つも恥かしくないような展示室にしたいのですが、現在収蔵している資料では不十分です。次に掲げる品名は、これから集めたいもののほんの一部です。衣食住に用いられるもの、仕事着、装身具、つづら、行李、足付膳など、蚊帳、あんどん、ぼんぼり、燭台、掛簾、火棚（いろいろの上に吊す）火消壺、炭取、火箸、台子能、火打石、煙草入れ、煙管ほか。ほかに沢山ありますが、機会ある度にお願ひするつもりです。情報だけでも結構です。教育委員会へ連絡下さい。

津奈木

前号から

発行所
津奈木公民館
芦北郡津奈木町
電話(78)311140
印刷所 旭印刷
電話(水俣)84101番

一言

染竹のお年寄りの呼びかけで、最近復活したものが二つある。一つは棒踊り。その活躍は度々公民館の裏にある「山神さん」の祭りの日である。「山神」と呼ばれているが、所謂「山神」とはちがう。祭りの日時も形式もちがう。

旧暦十一月十四日夜、焚火をドンドン焚いて、持ち寄りの煮しめで酒を酌みかわす。子供にはその年の新しい米で作った甘酒がふるまわれる。そんな民間伝承が伝えられていたのが、このほど二十数年ぶりに復活した。復活最初の祭りの日は、心配していた雨も晴れあがって、その日は満月がコウコウと輝いた。

ご神体は何の変哲もない只の石である。石造りの祠の中に鎮座していらつしやる。旧暦十一月十四日の火祭りを調べると、静岡県秋葉神社の火伏せの神を祀るものがある。津奈木でももう一ヶ所森下武明さんが屋敷の中で祭りをしている。

この二つの復活物語は「日本人は金持ちになったようだけど、何か忘れ物をしていないか」と問いかねられていた。お年寄りが守り続けてきた古い伝承に対するひそかな期待と願望を無視しないで、次代に引継いでゆく責任はとてつもなく大きい。

平成元年度 社会教育 団体役員紹介

皆様の御指導をお願いします。

津奈木町 連合青年団

団長 本山 真吾
副団長 新立巳喜男
事務局 荒川 隆広
顧問 新立 啓介

婦人会

津奈木校区

会長 千々岩順子
副会長 西川 京子
副会長 竹本カチ子
書記 齊藤 道子
生計 白坂 寿子
生計 沢井みすえ
生計 松田ハツエ

赤崎校区

会長 森山サツキ
副会長 藤原 秀代
副会長 尾花ミツノ

平国校区

会長 上村サミ子

津奈木町 PTA

副会長 村上 国子
書記 野崎 久子
書記 伊藤 信子

連絡協議会

会長 石田 恒義
副会長 浜田久米男
副会長 白濱 優子
副会長 山本 茂夫
副会長 諫山 茂
監査 諫山 茂
監査 元村 久美

津奈木中学校

会長 白濱 優子
副会長 松永 尚盛
副会長 上村 正雄
副会長 福山 学
書記 齊藤 卓也
書記 鶴野 尚子
顧問 山本 茂夫
顧問 三隅 駿二
顧問 中山 巳熊
監事 上原 良一

津奈木小学校

赤崎小学校

会長 石田 恒義
副会長 釜 修平
副会長 元村 久美
書記 西平 久雄
書記 竹田れつ子
書記 村本 健二
書記 鶴野 慶昭
書記 吉田 耕一
書記 中山 巳熊
書記 北岡あつむ

平国小学校

会長 諫山 茂
副会長 岩崎 幸一
副会長 佐々木栄子
副会長 遠山 隆
副会長 岩崎 秀一
書記 宮川 二子
書記 平野 和信
書記 野崎 徹芳
書記 後藤 善治
監事 福田 三継
監事 福山 三子
監事 宮川 二子
監事 平野 和信
監事 野崎 徹芳
監事 後藤 善治

津奈木町老人 クラブ連合会

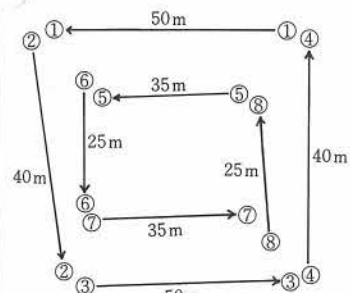
会長 浜田久米男
副会長 福田 三継
副会長 福山 三子
副会長 宮川 二子
副会長 平野 和信
副会長 野崎 徹芳
副会長 後藤 善治
監事 福田 三継
監事 福山 三子
監事 宮川 二子
監事 平野 和信
監事 野崎 徹芳
監事 後藤 善治

津奈木町 文化協会

顧問 福島 円太
会長 六車 孝吉
副会長 谷口 秀人
副会長 山下 茂
副会長 鶴野 慶昭
副会長 吉藤 五助
副会長 伊藤 一吉
副会長 浦口美代子
監事 浦口美代子

グラウンドゴルフ

梅雨があけると、いよいよ本格的スポーツシーズンとなります。日頃の運動不足解消、自分の健康管理の意欲でも、軽い運動をする事は大変大事なことです。最近、千拓周辺を歩く人の姿をよく見かけます。しかし、ただ歩くだけではおもしろくありません。そこで、歩きながら楽しめる、グラウンドゴルフを紹介いたします。ルールは至って簡単、ゴルフポストに少ない打数で入れるかを競うだけです。又、大人から子供まで何人でも出来ますので、友人で、家庭で、地区で気軽に



コース設置図(例)

一、一チームは原則として6名とする。(団体戦の場合)
二、8ホールを二単位とする。
三、各ホールの打数の合計で勝敗を決する。
四、コースについては、左図参照(自由に設定してよい)
五、ホールインワンの場合は、-2とする。

編集室から

▼岡本秋徳さんの2年間にわたる「西南戦争」が今月号で終ります。意欲的な論考にも拘らず、窮屈なスペースで思うに委せなかったことをお詫びします。

この欄は「町史うらばなし」として、津奈木の歴史を発掘する企画で、次号からは稿を新たに登場する予定です。

▼郷土史料文化館には伝承芸能練習室があります。今こそ火を消さないために、復活の手を貸して戴きたい。消えそうになっている踊りが沢山あります。

文化財愛護シンボルマーク



文化財愛護シンボルマークは、文化財愛護運動を全国に押し進めるための旗じるしとして、昭和41年5月に定められたものです。このシンボルマークは、ひろげられた両方の手のひらのパターンによって、日本建築の重要な要素である斗拱(組みもの)のイメージを表わし、これを三つ重ねることにより、文化財という民族の遺産を過去・現在・未来にわたって永遠に伝承していくという愛護精神を象徴したものです。

地域をおこす人々(4) オクラ作りに取り組んでいる

伊藤兼保さん(57才)



オクラの取入れに忙しい伊藤さん夫婦

内野の伊藤兼保さんがオクラ作りに取り組んだのは三年前の昭和六十一年からである。減反が進む中で何と有効な利用はないものかと考えた結果、転作に適し、しかも経費があまりからず収穫が上り期間が長いのに魅力を感じてオクラ作りを始めたという。

宮崎、指宿方面では既に十五年位前から栽培に取り組んでいるとのこと、本県では天草地区が盛んだそう。そこで先進地である栖本地区に出かけ、つぶさにその状況を視察し、その栽培法を参考に組みはじめたのである。

本町でもまだあまり普及していないが、古中尾、赤崎、内野あたりで何人かの方がやっておられるとのことだ。

オクラはトロアオイによく似

明けからぐんぐん生育旺盛になってくる。温度調節が栽培管理上、最も大切な注意点である。収穫は六月下旬頃から始まり十月位まで続くのである。開花後三〜四日たつて五〜六cmになったやを早どりする。人間の背丈以上にも伸びるのである。摘み取ったオクラは大きさに応じて選別され、ネット八〜十本位にして箱詰めされ、町農協を通じて熊本方面に出荷される。自然食ということで需要が増しているそうだ。

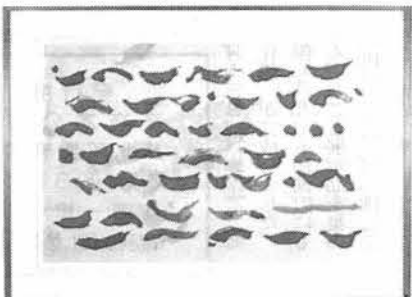
先般、伊藤さん達のオクラ作りが新聞に掲載紹介された際、熊本市のある男子小学生から「オクラのおじさんへ」のお願いとして詳



市場に出されるオクラ

しくオクラについて教えて下さいとの手紙が舞い込み、伊藤さんは親切丁寧な返事をその少年に送ったという誠にほほえましいエピソードもある。伊藤さんは内野地区農家組合長として、また新農業自立運動の先頭に立つて常に実験的、研究的な態度で頑張っておられる。

リトグラフ 一九八二 坂本善三



淡い暖色の背景の中を小気味よくリズムカルに筆が動いていく、心地よい軽快な音楽が流れる。わずかな風に揺れ、柔かい光を返す海の面。人は、静寂に緊張し、怒濤に恐れを抱く、そして、軽やかな動きになぐさめられる。流れる、流れる、ゆるやかに、永遠に。(T)

庁舎美術館(25)

読書感想文

「ナイチンゲール」を読んで

赤崎小学校五年 森山 智枝

戦場できつった兵隊達から、ランパを持った天使、としたわれたナイチンゲール。その、深い人間愛は、多くの人々の心を強くゆさぶった。

イギリスの大金持ちの家に生まれ、ぜいたくなくらしをする両親や姉を見て、「自分は、もっとかうことをしたい。かわいそうな人に、なにかしてあげたい。」と思つて、家族は反対したけれども、かんごふの勉強をして、願ひ通り、かんごふになった。よいくらしをしていれば、苦勞することもなかったのに、自分をきせいにしてまで、人のためにつくしたいという強い心と勇氣にとても感動した。

でも、戦争がおこり、大勢の兵隊達が死んだ。コレラという病氣もはやり出して、手当てもつづられずに死んでいく兵隊達のことを知ったナイチンゲールは、国の役人に、自分を兵隊達のいる病院で働かせてもらえるように、手紙を出した。この仕事こそ、神様にあたえられた自分の仕事だと思つたのである。

病院は、まるで地獄のようだった。わずみのはい回るゆかには、しらみだらけの兵隊がころがり、

コレラにかかった兵隊は、むねの悪くなるようなにおいの中で、死にかけているのだった。「ここをきつと天国にかえてみせる」ナイチンゲールは死にもぐらうで働いた。そして、やさしさもわすれなかった。病氣と戦う人にとって、やさしくつくしてくれるナイチンゲールは、きつと天使のように思われていたにちがいない。

「イギリス中の病院を天国にした」イノそのために、りっぱなかんごふを育てたい、と思つて、長い戦いで体も弱っていたが、病氣にも負けないで、世界で初めての、かんごふ学校を作った。90歳の夏、なくなるまで、やさしく、強い、まるで天使のようなナイチンゲールの心は、世界中の病院でかんごに当たる人々の心にうつがれていった。

人のためにつくすと言うことはすばらしいことだけど、それをやりとげるには、強い心と勇氣がなければならぬと思う。この本は、かんごふという仕事の大切さとやさしさを教えてくれた。と同時に強い心と勇氣を持つてがんばりなさいと言っているように感じた。

町指定文化財

新村眼鏡橋

重盤岩眼鏡橋は芦北郡内では一番大きいと言われているが、新村に残された眼鏡橋は県内で一番小さな眼鏡橋ではなからうか。長さ一・七m、巾一・五mのミニ橋である。

現在では、コンクリートで橋巾を二・四mまで拡げている。いつの頃、誰が作ったか不詳であるが、現在は津奈木町に管理されている。ここは、赤崎に通ずる道の入口附近であつたと聞かされたが、今は訪れる人もないとのことだ。

古川から小坂を登った処で、この橋面が見えた。

石も附近の眼鏡橋と同質のもので組み方も同様と見た。

兩岸の草をむしり木の枝を折つて、「二歩退つて見ると、思わず『あらやむぞかよ』と叫んだ。ユ一モアさへ感じさせるこの橋は、俺も一人前だぞと、岩城の橋群の前に踊り出た格好である。

この橋を架けた御仁は、余程の風流人であつたらうと思われる。



むぞかア新村眼鏡橋

ただ渡るだけの橋ならば、跳んでも渡れるこの小川は、丸太棒や板切れでもよさそうなのを、遠方から石を運び、小型の橋を架けてではない。岩城の数ヶ所の眼鏡橋工事に携つた経験を生かして、

やつて見ようと決心して架けたいものであろうか。

この橋が出来てから一四〇年位経っているのに何の損傷もなく、出来たままの姿を残している人に何か語りかけているようである。

寄贈本のお知らせ

犬童計廣さん(中尾)から「町民の皆さんに読んでもらえたら……」といろいろな本を合わせて四二冊ご寄贈いただきました。早速、本町図書館に陳列し、皆様に読んでいただきたいと思つております。誠に有難うございました。

短歌

宮崎 優選

改植をなすど鋸ひく夫の背に実る日もなき花こぼれ散る

やり場なき私の心のこくにか燃やすみかん樹炎はたけし

寺本 ツルヲ

こぼれ散るみかんの花を背にうけて農すてがたく肥料ふりゆく

むつみあ最後となりし理事会のいさかいありぬ雨に消さむか

野田 浦子

入園の幼児見送り門にたつあけなき笑去りがたかりき

婚礼の紋付袴縁に揺る此の後再び着ることもなく

白浜 美和子

尉より新米の香りふつと昔偲べば幸せ満ち来る

そらまめの我が背の丈に伸びゆきて薄紫の花にかこまる

福田 八重子

春日和身を横たえし窓ぎわに痛めし足首陽はあたたかし

骨折し動けぬ私の手足のごとく働く孫等骨身おします

柳迫 いづも

今更になど青春をうらやまんな老には老の喜びがあれば

今日も赤きより若き人の逝きぬ吾が足元のゆらく思ひも

次笠

遅かった。戻るか、一笠一句、七月末日まで、倉谷堀双岳へ、

肥後狂句

堀 双 岳 選

又おいで、こんなアごちそうしとくけん

又おいで、また話した残つとる押しつめて、袋の口は締められん

又おいで、單身赴任でまならん押しつめて、定員オーバーぞ危アぞ

鳥居 雲波

柳迫 白浪

堀 双岳

西南戦争(13)

学校党の領袖池部吉十郎が小川に到着していた薩軍の先鋒部隊の大隊長別府晋介に会いに行き、熊本城の攻略の方策を訊いたところ、「別に攻略の策などはない。行路を阻止されたら一蹴して通るだけだ」と答えたということ先号に書いたが、池部は健軍神社にあつた学校党の同志にそのことを告げた。「なに、攻略の作戦などなにか?」「それでは勝目はなにか?」「勝目のなかに戦になんて加担せんばならんとか?」「喧嘩がくがく議論が同志の間で沸騰して収拾がつかない状態になった。熊本は古来理屈の多いところだといわれてきたが、そのような意見の出るのは当然のことであつた。

学校党を支えた陽明学

……最終回……

岡本 秋 徳

「義」という言葉の真意は合理主義、現実主義の現代人の感覚では難解な言葉である。漢和字典には「君国また公共のためにする心がけ」と釈されているが、四書の「大学」という本のなかにでくくる言葉である。

「義」という言葉の真意は合理主義、現実主義の現代人の感覚では難解な言葉である。漢和字典には「君国また公共のためにする心がけ」と釈されているが、四書の「大学」という本のなかにでくくる言葉である。

「義」という言葉の真意は合理主義、現実主義の現代人の感覚では難解な言葉である。漢和字典には「君国また公共のためにする心がけ」と釈されているが、四書の「大学」という本のなかにでくくる言葉である。

が開設され、朱子学に基づいた学問が盛んになり、肥後藩の士族の子弟はこの時習館に学び、池部以下学校党の連中すべて時習館出身の主流派の士族たちであること。また、江戸後期の天保の大飢饉に、貧しい人々のために大坂で反乱を起した陽明学者大塩平八郎のことを述べたが、この朱子学や陽明学というのとはひっくり返る宋学といわれる学問で、ぎりぎりのところにはフアナティズム・狂信的心酔にならないと結晶しあがらないもので、その説くところは「先知後行」とか「知行合一」とか現実にはなかなかできないことを云うこ